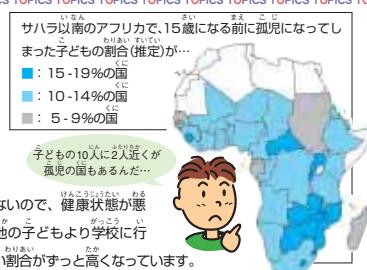


発行者 ユニセフ子どもネット事務局 団体法人 日本ユニセフ協会 広報室 〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス
でんわ：03-5789-2016 ファックス：03-5789-2036 電子メール：jcuinfo@unicef.or.jp

UNICEF TOPICS

エイズ孤児についての レポート発表

11月26日、ユニセフは、HIV/エイズによっておやじのこじいだになった子どもたちについてまとめたレポートを発表しました。これによると、サハラ以南のアフリカの国々で、HIV/エイズのために片方の親をなくした子どもは1990年には、100万人よりも多くなったのですが、2001年の末には1,100万人にまで増えました。エイズ孤児の10人のうち8人はサハラ砂漠より南のアフリカで暮らす子どもたちです。子どもたちは、親の病気の苦しみや亡くなるようすを見せてショックを受けていますだけでなく、他の子どもたちよりも貧しい生活をしいられます。栄養も十分ではなく、保健のサービスも受け



ではないので、健やか状態が悪くなることがあります。
ほかで、他の子どもよりも学校に行き
わないでいることがあります。
いけない割合がずっと高くなっています。
エイズ孤児は、2010年までに2,000人まで増えると予想されていて、レポートは、
から来るところと警告しています。一刻でも早く、親せきの輪を広げ、コミュニケーションを一緒に
育てていかける力が強めなければなりません。
が保健や教育のサービスを受け、差別を受けない
ないようになりません。レポートは、こうした
ために、国が最終的な責任を持たなければなら
ています。

各地で予防接種 が成功



© UNICEF/Uganda/Dyer

せん そう なか こ 戦争の中の子どもたちについて こく れん はつ びょう 国連がレポートを発表

国連は、戦争の中の子どもたちについて新しいレポートを発表しました。レポートは、いまだに世界中で、戦争のために子どもたちが殺され、孤児になり、障害を負い、誘拐され、教育や保健のチャンスをうばわれ、心に深い傷を受け、家人から連れられ、難民や避難民になり、暴力をふるわれ、貧困にさせられ、病気や栄養不良になっている」とうつたえました。

The logo for 'STORY' features the word 'STORY' in a white, sans-serif font inside an orange semi-circle. Below it, the number '24' is written in a green, stylized font.

みんながザカリアスくんのようになれるよ……

長い戦争が終ったアンゴラでは、ユニセフや政府が呼びかけたパック・トゥ・スクール（学校にもどる）キャンペーンで、たくさんの子どもたちが学校にもどってきました。14歳のザカリアスくんもそのひとりです。感情ゆたかな、笑顔のすてきな少年です。ザカリアスくんも、ほかの多くの子どもと同じで、家族といっしょに戦争からにげまどっている間、一度も学校に通ったことはありませんでした。

ザカリアスくんは14歳で
すが小学生1年生の勉強か
らはじめています。そして、
教室も子どもたちが多すぎ
て、すしづめです。

「でも、ぼくはうれしいん
だ。はたらくのも大事だけど、
それだけじゃだめだと思う。

ぼくは、いろいろおぼえるのが得意なんだ。学校か
ら畠へいく途中で、習ったことを復習しているんだ」





A boy with dark skin and short hair is running towards the right. He is wearing a blue and white striped t-shirt and green pants. He has a brown backpack on his back and a white book bag in his left hand. He is smiling broadly. The background is a plain white.

子どもたち

- ➡ ユニセフピックス 1
 - ➡ ユニセフ・アフリカ・ミーティング「今、アフリカで起きていること」報告 ～ニュースからは見えないアフリカを感じた日～ 2-3
 - ➡ 写真で見る世界の子どもたちのようす～アフリカの子どもたち ユニセフ紙上写真展 4-5
 - ➡ ユニセフ子どもネットマーリングリスト ユニセフ現地スタッフ 兼光さんにインタビュー！ 6-7
 - ➡ REPORT&INFORMATION 〈報告とお知らせ〉 8